

卵巣のう腫

卵巣は子宮の左右両側にあり、約 2 ～ 3 cm ほどの大きさです。

この卵巣に腫瘍ができた状態が卵巣腫瘍（卵巣のう腫）です。

卵巣の腫れ方によって袋状で水が溜まったような状態をのう腫と言います。卵巣のう腫のうち、ほとんどのケースで良性ですが、ごくまれに悪性であることがあります。卵巣は体内の深い部分にあるため、のう腫が小さい内は、ほとんど自覚症状が無いケースが多いです。

卵巣のう腫が肥大化していくにつれて、下腹部痛・下腹部の膨らみ・生後痛がひどくなる・経血量が増えるなどの症状が見られることがあります。

年に 1 度は婦人科検診を受診することで、卵巣のう腫の早期発見ができる可能性は上昇します。

定期的な婦人科検診を受けるようにしましょう。